

定住化促進住宅の利活用に向けたサウンディング型市場調査 結果概要

令和8年3月30日
矢吹町都市整備課

1. 調査の目的

定住化促進住宅につきましては、付属施設を含め敷地全体における売却等の利活用を行う方針で検討を進めております。

事業検討の段階で、市場性の有無や民間事業者のアイデアを公募による直接対話（サウンディング）で把握し、今後の方向性を検討していくため、市場調査を実施しました。

2. 対象財産

定住化促進八幡町住宅用地（矢吹町八幡町 712 番地 2 ほか 3 筆）

※1号棟、2号棟含む敷地全体 7,711.82m²

3. 調査実績

公募開始	令和7年12月5日（金）
現地見学	令和7年12月22日（月）
質問書に対する回答	令和7年12月26（金）頃 ※質問書の提出なし
サウンディング（対面）	令和8年1月15日（木）
調査結果の公表	令和8年3月下旬

4. 参加事業者

1者に参加いただきました。なお、参加事業者名は公表しません。

5. サウンディング型市場調査の実施概要

(1) 提案事業の概要

◆住宅及び社員寮として運用

(2) 提案事業のコンセプト

定住化促進住宅の半数を地域内外から就職する社員に対しての社員寮として活用する。

残りの住戸は、地域住民向け住宅として活用することで、多様な居住者が共存する持続可能な住宅活用を目指す。

6. 今後の方針

事業者の皆様よりいただいたご意見を参考に、今後の方向性を検討していきます。

※上記は市場調査による結果概要であり、記載の提案事業で決定するものではありません。